

# e news SEaweEDS No. 10

## 日本海藻協会ニュース

2009年1月15日

### ・協会事務局から

#### 1. 謹賀新年

明けましておめでとうございます。協会発展のためにご協力のほど今年もどうぞよろしくお願いいたします。

#### 2. 「海藻資源」No.19 の訂正

昨年12月25日付で会誌「海藻資源」No.19が発行されましたが、その中で次のような誤りがありました。お詫びして訂正します。

- (1) p.39：総会出席者に「宮島千尋(株)キミカ」を加えてください。
- (2) p.39：「(正会員41名中23名出席)」を「(正会員41名中24名出席)」に訂正。

#### 3. シンポジウム等に対する要望をお寄せください

今後のシンポジウムや講演会について、テーマ、講師、開催地などについて会員からの要望を募ります。提案を事務局宛に積極的にお寄せください。

### ・海藻関連ニュース

#### 1. 日本藻類学会第33回大会 - 沖縄-2009 -

日本藻類学会第33回大会 - 沖縄-2009 - が2009年3月26 - 29日に琉球大学(沖縄県千原)で開催されます。日程の概要は次の通りです。詳細は日本藻類学会ホームページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsp/Welcome.htm>)をご覧ください。

- 3月26日(木) 評議員会、ワークショップ
- 3月27日(金) 口頭・ポスター発表、総会、懇親会
- 3月28日(土) 口頭・ポスター発表、公開シンポジウム、  
ワークショップ (30日まで継続)
- 3月29日(日) エクスカーション(カサノリ生育地での観察会など)、  
ワークショップ (30日まで継続)

## 2. 平成 21 年度日本水産学会春季大会

平成 21 年度日本水産学会春季大会が 2009 年 3 月 27 - 31 日に東京海洋大学品川キャンパス(東京都港区港南 4 - 5 - 7)で開催されます。研究発表等の申込み締切りは 2009 年 1 月 15 日、研究発表しない人の参加申込み締切りは 2009 年 2 月 20 日です。詳細は日本水産学会のホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsfs/> をご覧ください。

なお、海藻関係のミニシンポジウム「ノリ病気研究の現状と展望」が 3 月 27 日午後に予定されています。

## 3. 第 12 回マリンバイオテクノロジー学会大会(日本海藻協会協賛)

第 12 回マリンバイオテクノロジー学会大会が下記の要領で開催されます。

日程： 2009 年 5 月 30 日(土) ~ 31 日(日)

会場： 早稲田大学大久保キャンパス 63 号館

大会事務局： 〒162-8480 東京都新宿区若松町 2-2

早稲田大学先端生命医科学センター

早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 生命医科学科内

第 12 回マリンバイオテクノロジー学会大会実行委員会

TEL: 03-5369-7326 FAX: 03-5369-7302

E-MAIL: assoc-marine@list.waseda.jp

懇親会： 5 月 30 日(土) 18:00 ~ 20:00 63 号館 第 2 教室

大会の内容： 1. 一般講演(口頭発表、ポスター発表)

2. シンポジウム(一般) 3. 懇親会

\*シンポジウムの企画を公募しています。企画ご希望の方は大会事務局までご連絡下さい。

発表形式：1. 口頭発表：一般講演は質疑含み 15 分(液晶プロジェクター使用)

2. ポスター発表：学生を対象とした優秀ポスターの表彰を予定

一般講演のセッション：

1. 微生物 2. 微細藻 3. 海藻・付着生物 4. 魚介類

5. 天然物化学・未利用資源 6. バイオミネラリゼーション

7. マリンゲノム 8. 環境・環境適応 9. その他

発表申込みの締め切り： 2009 年 3 月 13 日(金) 必着

講演要旨の締め切り： 2009 年 3 月 31 日(火) 必着

事前参加登録締め切り： 2009 年 4 月 30 日(金) 必着

講演申し込み方法： 発表希望者は書式に従って、発表希望セッション、希望発表形式、発表者氏名・所属略記(連名の方全員)、演題を明記の上 web 上よりお申し込み下さい。

参加登録方法：参加登録希望者は書式に従って、申込者氏名・所属および連絡先を明記の上、web上よりお申し込み下さい。詳細は大会ホームページでご確認下さい。

第12回大会ホームページアドレス：<http://www.waseda.jp/assoc-marine/>  
学会ホームページ：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsmb/index.html>

#### 4. 第9回国際藻類学会議

第9回国際藻類学会議 (The 9th International Phycological Congress, IPC9)が2009年8月2-8日に東京代々木のオリンピック記念青少年総合センターで開催されます。経済的支援申請の締切日は2008年12月1日、ワークショップ申込み締切日は2009年2月1日、早期参加登録及び発表要旨提出の締切日は2009年3月31日、参加登録・宿泊・エクスカーション等の取消し期限は2009年5月15日です。

会議事務局：G.education Co., Ltd., Ginza 1-15-2, Chuo-ku, Tokyo  
Tel. 03-3563-2890, Fax. 03-3563-2892, [ipc9@ec-inc.co.jp](mailto:ipc9@ec-inc.co.jp)  
詳細は<http://www.ec-japan.jp/ipc9/index.html> をご覧下さい。

#### . カレンダー

2009.3.26-29. 日本藻類学会第33回大会 (沖縄 琉球大)

2009.3.27-31. 平成21年度日本水産学会春季大会 (東京 東京海洋大)

2009.5.30-31. 第12回マリンバイオテクノロジー学会大会 (東京 早稲田大学大久保キャンパス)

2009.8.2-8. 第9回国際藻類学会議 (東京 オリンピック記念青年総合センター)

#### . 海藻 Q & A

Q13 - 「心太」と書いて「トコロテン」と読むのはなぜですか？

A - 「心太 (トコロテン)」の語源については、昔「ところてん」が「古古呂布度 (ココロプト)」と呼ばれていたことが古書の記述に基づいて明らかにされており、このココロプトがココロテイと訛り、さらに転じてトコロテンに変わったのであろうと言われている。ココロプトあるいはココロテイと呼ばれていたことは確かなので、これがいつしかトコロテンに変わったと考えるのは自然であろう。「心太」という文字は古訓のココロプトに対する当て字に相違ないが、ココロプトがトコロテンに変わった現在でも依然として「心太」のまま使用され、トコロテンと読まれている。また、石川県能登地方には、少なくとも昭和初期まで「ココロフト」という言葉が使われて

いたところがあったという。

なお、ココロブトというのはテングサの古名ブトグサ（大凝菜）に由来する言葉で「凝り(コゴリ)たるブトグサ」の意味であると考えられる。

### これまでのQ&A

- Q1 - 「海藻」と「海草」は同じですか。(No.2 に掲載)
- Q2 - ノリの「色落ち」って何ですか。(No.2 に掲載)
- Q3 - 海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか?(No.3 に掲載)
- Q4 - コンブやワカメは湯通しするとなぜ緑色になるのか? 焼き海苔はなぜ緑色か?(No.3 に掲載)
- Q5 - 海苔が湿気ると赤紫色になるのはなぜか?(No.3 に掲載)
- Q6 - テングサという種名の海藻はないのですか?(No.4 に掲載)
- Q7 - 「うみぶどう」は海藻の名前ですか?(No.5 に掲載)
- Q8 - 「キラー海藻」って何?(No.6 に掲載)
- Q9 - 日本の海苔は輸出されていますか?(No.6 に掲載)
- Q10 - 「髪菜(はっさい)」は海藻ですか?(No.7 に掲載)
- Q11 - 中国で栽培(養殖)されているノリは日本のノリと同じですか?(No.8 に掲載)
- Q12 - 「岩のり」と「青のり」は違うものですか?(No.9 に掲載)

この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月1回(毎月15日付で)発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F  
マリン・サイエンス株式会社 内

### 日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝 ([arugay@mx4.ttcn.ne.jp](mailto:arugay@mx4.ttcn.ne.jp))